

2025年度 公立大学法人大阪第1回役員会議事要旨

日時：2025年4月16日（水）9時30分～10時45分

場所：UR森之宮ビル3階 役員会議室

構成員：福島理事長、櫻木副理事長、酒井理事、丸尾理事、高橋理事、徳永理事、重松理事、
中村理事、宮部理事、帯野理事、藤本理事、藤沢理事(ワライ)、

監事：白井監事、前田監事(欠席)

陪席者：露口本部事務機構長、大久保本部事務機構次長、石井本部事務機構次長、富宅阿倍野
キャンパス事務局長、柴山企画総括部長、石田総務部長、森岡企画部長、肥田人事戦
略部長、吉岡財務部長、船野学長室長、寺田阿倍野キャンパス事務局事務部長

【審議事項】

1 公立大学法人大阪名誉特別顧問および特別顧問の任命について

担当理事より、公立大学法人大阪名誉特別顧問および特別顧問の任命について説明があり、
審議の結果、原案のとおり承認された。

<主な意見等>

- ・特別顧問の任期はなぜ1年なのか。

→2022年10月に実施した法人のガバナンス改革において、特別顧問については毎年審議を
行うことで決定した。

【報告事項】

1 2025年度方針「次のステージに立ち、新たな成長への挑戦を」

担当理事より、理事長による2025年度方針「次のステージに立ち、新たな成長への挑戦を」につ
いて、報告があった。

<主な意見等>

- ・DX戦略については、現場を熟知した職員を中心に体制をとり、組織全体としての意思決定を
行うことが重要である。

- ・AIを積極的に活用すると共同研究を希望する海外の研究者が集まる可能性が高まる。また、
都市シンクタンクの取り組みにおいては、本学は幅広い分野を備えていること、大阪府市が
実証実験の場そのものであることから、DX社会においてよりウェルビーイングなまちへ発展
させることが可能だと思う。

→教育現場でのAI活用については、情報漏えい対策を行ったうえで本学としての方針策定が
必要である。加えて、業務削減と質の向上にも繋がるので、DXを戦略的に活用していきたい。
また、医学部においては画像診断をはじめとしてAI活用は飛躍的に伸びており、国際
連携や企業とのタイアップ等も計画中である。

- ・世界大学ランキングについて、各ランキングにはどのような違いがあるのか。また、ランキ
ング向上に繋がる論文作成にはどのような支援が必要になるのか。

→3種類のうち、標準的で教育研究成果等の評価指標がバランスよく反映されているTHE世
界大学ランキングをメインターゲットにしている。キーとなるのはトップ10%論文数や国
際共著論文比率であるので、国際化を推進しつつ、トップ10%論文以上へのオープンアク
セスの支援等を地道に実施することが重要である。

2 2025年度 役員懇談会（新）の開催について

担当理事より、2025年度 役員懇談会（新）の開催案について報告があった。

3 森之宮キャンパス開設セレモニーの概要について

担当理事および総務部長より、森之宮キャンパス開設セレモニーの概要について報告があった。

【その他事項】

1 大阪公立大学「大学歌」制定について

担当理事および企画部長より、大阪公立大学「大学歌」制定について報告があった。

<主な意見等>

- ・JR西日本との連携については、今回の入学式における大阪城公園内駅舎内での取り組みだけに留まらず、今後も連携を続けていただきたい。
- ・森之宮に設置される大阪メトロの新駅について、駅名に大阪公立大学の名称が入れば大学名の宣伝になる。
- ・森之宮キャンパスの建物自体は目立つが、遠景では大学名が確認できないので、高い場所に表示することも効果的。

2 2025大阪・関西万博への主な取り組みについて

担当理事および企画部長より、2025大阪・関西万博への主な取り組みについて報告があった。

3 非常勤役員からの意見、質問等について

役員間で意見交換を行った。

<主な意見等>

- ・今後は留学生のインターンシップ教育などについて、大学間連携が組織的に推進できるよう力を入れていただきたい。

【備考】

オンライン会議システムを併用した役員会は、適時的確な意見表明が互いにできる状態であることを確認しており、終始異状なく議題の審議等を終了した。

以 上